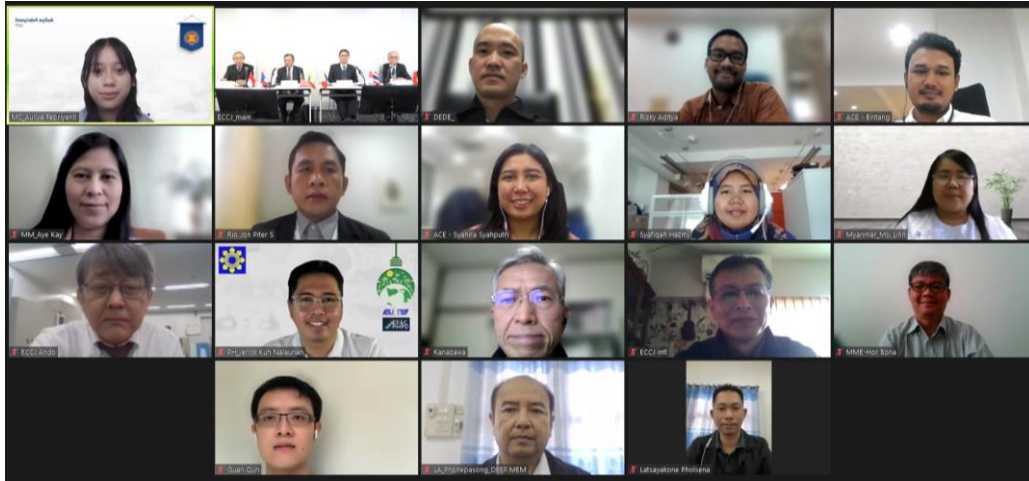


## 令和4年度 ASEAN向け AJEEP Scheme 4のオンラインセミナーを実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4プログラムの第5弾として、令和5年2月24日、ASEAN 10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、Comparative ReportとASEAN共通標準エネルギー管理士研修プログラムに関するオンラインセミナーを開催しました。



1. 経緯：今年度より新たに開始したAJEEP\* Scheme 4は、ASEANのCommon Standard Module（共通標準エネルギー管理士研修プログラム）を策定し、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理認証システム）を構築するための技術支援を実施するものです。今年度はその前提となる、各国のエネルギー管理士制度・研修プログラムとAJEEP TOT並びにAEMAS（ASEANエネルギー管理認証システム）での研修内容を比較検討した報告書（Comparative Report）を作成すると共に、Common Standard Moduleの構成草案を作成する計画でした。そのために、各国からこの制度に関係する2～3名の政策担当者や技術専門家を任命してSAEMAS ワーキンググループ（WG）を作り、昨年11月に実施したECAP\*\*27での報告と議論を踏まえて、オンライン中間ワークショップを12月、今年1月、2月6日と3回実施しました。その結果を踏まえて今年度の成果報告のオンラインセミナーを2月24日に開催しました。（\*：AJEEP； ASEAN-Japan Energy Efficiency Partnership, \*\*：ECAP； Energy Conservation Workshop under AJEEP）
2. セミナー出席者：参加者は、SAEMAS WGメンバーとしてASEAN各国から政策担当者を中心に12名、ACE (ASEAN Centre for Energy) から5名の合計17名が、またECCJからは8名が参加しました。
3. セミナー概要：
  - (1) ASEAN各国からのエネルギー管理士制度・研修プログラムとAEMASとAJEEP TOTの研修プログラム概要の比較表をベースとして、各国でのエネルギー情勢も含めて各種分析を加えたComparative Reportの最終案をACEより報告し、各国参加者の確認を取り了解されました。
  - (2) SAEMASのCommon Standard Moduleの構成案・主要項目案をECCJより提案し、Common Standard Moduleの技術レベルの位置づけや、含まれる項目、実践研修の運用法等に関しても多くの意見が出て、今後とも継続して検討・協議することにしました。
4. 今後の計画：今年度のScheme 4 SAEMAS WGとしての活動はこれで終了しますが、来年度は引き続きCommon Standard Moduleの中身の検討・作成・最終草案の協議・確定と、この上位となるAdvanced Module案およびMRA（相互認証協定）ガイドライン案の検討を開始する予定です。